

「キャンパス・アジア」モニタリング委員会（第3回）議事要旨

日 時 平成27年5月1日（金）14:00～16:00

場 所 学術総合センター11階 1112会議室

出席者

- （委員） 佐藤委員（委員長）、中島委員、二宮委員、岡本委員（副委員長）、
林委員（欠席：田中委員、平野委員、牟田委員）
- （専門委員） 大嶋専門委員、小尾専門委員、片山専門委員、刈間専門委員、
岸本専門委員、鈴木専門委員、山下専門委員（欠席：竹中専門委員）
- （オブザーバー） 鈴木高等教育局国際企画室室長補佐（文部科学省）
- （事務局） 野上機構長、山田理事、武市研究開発部長、土光国際課長 外

会議の概要

1. 日中韓の1次モニタリング結果及び今後の展開について

岡本副委員長より、1次モニタリングに係る平成26年度の活動状況、及び平成27年度に日中韓共同で実施する2次モニタリング手法の検討状況等について説明があった。

2. 2次モニタリングの実施について

（1）共同モニタリング委員・専門委員の選出とスケジュール等について

岡本副委員長より、共同モニタリング委員・専門委員の選出及び今後のスケジュールについて説明があった。

なお、各委員の選出にあたっては以下のとおり、了承された。

共同モニタリング委員については日中韓各国から3名選出（うち1名は質保証機関から選出）することになっており、専門家として、日本側モニタリング委員会から佐藤委員長及び岡本副委員長、質保証機関から土光国際課長とする。また、共同モニタリング専門委員については日中韓各国から1～2名選出することになっており、訪問調査を行うプログラム決定後に、訪問日程等を踏まえ、個別に相談し決定する。

（2）2次モニタリングの自己分析書の構成及び基準について

岡本副委員長より、2次モニタリングの実施にあたって、大学側に記述を依頼する自己分析書の構成（案）及び日中韓で合意した基準について説明があり、委員との意見交換を行った。委員からの意見を踏まえ、今後、当機構にて中国・韓国の質保証機関と調整を図っていくこととなった。

3. その他

（1）モニタリングに関する今後の予定について

事務局より、2次モニタリングに関する今後の予定等について説明があった。

なお、次回のモニタリング委員会（第4回）は平成28年3月頃に開催の予定であること、及び、必要に応じて専門部会を複数回開催することが了承された。

（2）キャンパス・アジアの拡大方策について

事務局より、キャンパス・アジアの拡大方策について第5回日中韓大学間交流・連携推進会議合意事項に基づき情報提供があった。

以 上